



島山 美幸 議員

試算で、94匹が
1786匹になる
食ひ止めができた

問 ①28、29年度の避妊去勢手術件数は
②29年度の子猫里親状況は
③「ふるさと納税」地域猫目的使用による寄付の状況は。

答 環境農政課長
①28年度はメス17匹、オス15匹の合計32匹、29年度は2月16日現在でメス42匹、オス20匹の合計62匹。2年合計94匹。②30年2月16日現在の里親状況は、地域猫の会子猫保護が70匹、その内譲渡数は54匹。会員宅にて一時預かり子猫が16匹である。



埼玉県「地域猫活動実践ガイドブック」より

答 環境保全事業目的では0件が、19件47万円の実績に
ふるさと納税「地域猫活動」目的明記での件数は

答 参事兼総務課長
③ふるさと納税推進のため、PRは様々な工夫を行っている。昨年11月18日より、ふるさとチョイスに、選べる使い道として「地域猫活動をはじめとする環境保全事業」を明記したところ、19件47万円の実績となっている。今まで環境保全事業を指定した納税は0件であった。地域猫に対する関心の高さを改めて実感している。

学校での心肺蘇生教育 突然死0を目指した危機管理体制の整備は

問 平成29年3月に中学校新学習指導要領保健体育科の保健分

答 教育長 町の幼稚園、全小中学校にAEDを設置、全教職員を対象にAED使用の心肺蘇生講習を実施。中学校では保健体育の授業を中心に、生徒も教職員と同じ人工呼吸やAED使用の心肺蘇生実演講習を実施しているが、小学校児童の実技講習は現在実施していない。今後5、6年生を対象に実施する方向で検討している。



松本美子 議員

元気で暮らし
力強く人生を

問 在宅介護家庭の現状と民生委員、社協等の家庭訪問対応は。
答 長寿生きがい課長 65歳以上のひとり暮らしや70歳以上の世帯を対象として定期的に訪問を行う。28年度実績は113名に対し187日訪問した。29年2月現在106名を訪問しており週1回から年1、2回で包括支援センターの職員、看護師が対応している。対象者の把握は本人や親族からの相談、民生委員、地域住民、社協等の情報提供により見

答 地域包括支援センターで対応
在宅介護家庭も高齢化に

守りにつなげている。社協は歳末支援、民生委員は社会調査等で家庭訪問を実施。
問 国民年金で介護施設へ入所が可能か
答 長寿生きがい課長 介護保険制度は介護される方の自立を支援、家族の負担軽減、急な病気が等で介護保険が必要となる。広報紙、ホームページ、各種教室、講演会等で啓発活動を実施。又居宅介護、施設介護サービス等がある。相談は長寿生きがい課へ。

高年齢者支援の事業取り組み

問 高齢者生活支援サポーター制度は。
答 長寿生きがい課長 訪問型サービスA、通所型サービスAの事業を開始、29年度より介護認定更新時に移行。29年12月末の実績は訪問型サービスAの実利用者12人、2事業所を利用、登録サポーター5人で対応です。通所型サービスAの実利用者5人、3事業所を利用、登録サポーターが不足の事業所は資格者の対応です。

問 養成講座の参加状況と登録の現状は
答 長寿生きがい課長 参加者12人、7人が2事業所へ登録。



元気に友達と楽しいひとときです